

科目名	医療心理学			ナンバリング	REG151	授業形態	講義
対象学年	3	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	林洋一	担当教員					

授業の概要	薬剤師が病院等で仕事をするときに関わる「人」の範囲は、業務・職域の拡大に伴い、従来からの医療従事者ばかりではなく患者やその家族にまで広がってきている。この講義では、医療心理学の概要を知るとともに、薬剤師として医師・看護師などの医療従事者、患者、患者の家族などと接するときに関与する心理学的・臨床心理学な知識や技術等を知り、それらを適切に利用できることを目標とする。臨床心理学に関連する分野では、ストレスとその対処法、精神療法、対象喪失、死への対応など、医療と密接に関連する分野を中心として講義する。						
到達目標	1. 医療と心理学・とくに臨床心理学との関連性を理解し説明できる。 2. ストレス、とくに心理社会的ストレスについて理解し説明できる。 3. 医療従事者と患者、患者の家族との関係を適切に理解し、説明できる。 4. 人間の発達、とくに成人期以降の発達について理解し説明できる。 5. 薬剤師としての業務を行う必要な「心理学的知識・技術」を修得する。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	人間の心について、自然科学とは異なる方法で理解し解釈することが求められる。また、人文科学的・社会科学的視点から、医療に関する諸問題を幅広く考察することも必要になる。さらに、自分自身について、他者についての認識を深め、よりよい人間関係を築く方法について学んでいただきたい。						
ディプロマポリシーとの 関連							
	○	1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
		2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
	○	3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
		5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
医療心理学に関する基礎的な概念を理解し、まとめ、整理することができる。また、医療従事者として必要な臨床心理学的な知識・技術を持っている。	医療心理学に関する高度な知識、技術を持ち、それらをまとめて整理することができるだけでなく、日常生活や医療における実践に生かすことができる。また、臨床心理学的な知識や技術について理解しているだけでなく、それらを医療実践の中で生かすことができる技能を身に付ける。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○	○		○		70%
小テスト・授業内レポート	○	○	○	○	○		10%
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○		10%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	課題レポートは、manabaを用いて提出する。また、フィードバックはmanabaを用いる場合と、授業時に受講者全員を対象に行う場合がある。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	医療心理学とは何か SBO:A-(3)-1-1-3, A-(3)-3-1-5	医療心理学とは何か、それは医療従事者、とくに薬剤師にとってどのような意味を持つかを理解し、その概要を説明することができる。	
	第2回	健康と疾病・障がいの心理① SBO:A-(3)-3-1-2	健康、疾病、障がいという概念を整理し、その内容を説明できる。また、健康な時とは異なる患者の心理について説明できる。	
	第3回	健康と疾病・障がいの心理② SBO:A-(3)-3-1-2	健康、疾病、障がいという概念を整理し、その内容を説明できる。また、患者の個人差を理解し、その患者に応じた対応を考えることができる。	
	第4回	医療従事者と患者・家族との人間関係 SBO:A-(3)-3-3	医療従事者が患者や家族と接触する時に必要な心理学的な知識・技術について整理し、よりよい接し方について意見を述べることができる。	
	第5回	健康に関する心理学的な問題① SBO:A-(3)-3-4	ストレス、ストレッサー、コーピングなどの諸概念を理解し、その心理学的な意義について意見を述べることができる。	
	第6回	健康に関する心理学的な問題② SBO:A-(3)-3-4	ストレス、ストレッサー、コーピングなどの諸概念を理解し、その心理学的な意義について意見を述べることができる。	
	第7回	精神療法①	精神療法とは何かを理解し、その概要や技法の特徴、および効用と限界等について説明できる。	
	第8回	精神療法②	精神療法とは何かを理解し、その概要や技法の特徴、および効用と限界等について説明できる。また、精神療法の基礎的な技法について整理し説明できる。	
	第9回	精神療法③	精神療法とは何かを理解し、その概要や技法の特徴、および効用と限界等について説明できる。精神療法の利用について整理し説明できる。	
	第10回	認知行動療法	近年、うつ病の治療等で注目されている認知行動療法とは何かについて理解し、その概要および効用と限界等について説明できる	
	第11回	成人期の心理 SBO:A-(3)-2-2	成人期の心理について整理し、発達段階における位置づけについて概説できる。また、成人期に多発する心の問題について自分の意見を述べることができる。	
	第12回	老年期の心理 SBO:A-(1)-1-1, A-(3)-2-2	老年期の心理について整理し、発達段階における位置づけについて考える。また、老年期に多発する心の問題について考察する。	
	第13回	対象喪失 SBO:A-(1)-1-4, A-(3)-2-2	愛する人を喪った人間の心理について対象喪失という視点から考察し、自分の意見を述べることができる。	
	第14回	死の臨床 SBO:A-(1)-1-4	ホスピスに関する医療心理学的な問題について整理し、死に臨んだ人の心理について考察し、自分の意見を述べることができる。	
	第15回	まとめ	これまでに学修してきた内容をまとめ、整理することができる。	
	試験	試験を行う。		
授業の進め方		基本的には講義形式であるが、講義テーマに関係する資料映像を視聴したり、受講者全体で討論することもある。		
授業外学習の指示		授業時に指示されたテーマについて、次回授業時までに各自で調べたり、まとめて整理する。 (授業外学習時間： 毎週 60 分)		

教科書	使用しない。
参考書	講義時に紹介する。
参考URLなど	講義時に紹介する。
その他	講義時に提示された資料映像を基に、自分の意見・考えをまとめてレポートを提出することを複数回予定している。